

第四次菊池市行政改革大綱

実施計画書

令和2年3月

菊池市

－ 目 次 －

実施計画書及び推進管理表の凡例	P1～2
-----------------	------

基本方針	No.	実施項目名	
持続可能な規律ある財政の確保	1	施設使用料等の見直し	P3
	2	補助金・負担金の見直し	P4
	3	上水道料金の適正化	P5
	4	下水道使用料の適正化	P6
	5	債権管理の強化	P7
	6	公用車運用の適正化	P8
	7	公共施設等総合管理計画の推進	P9
市民に寄り添った行政サービスの提供	8	窓口業務改善の推進	P10
	9	市営住宅管理の民間活力導入	P11
	10	生涯学習センター等のあり方検討	P12
意識変革・組織力の強化と事務の効率化	11	職員の意識変革・能力の向上	P13
	12	効率的な組織の構築と組織力の強化	P14
	13	ICT等の利活用の推進	P15
外郭団体の見直し	14	第三セクターの見直し	P16
	15	土地開発公社の解散	P17

第四次行政改革大綱 実施計画書【凡例】

基本方針	①	推進管理者	③		
実施項目名	②	実行責任者 (部会長)	④		
現状・課題	⑤				
目 標	⑥				
取組内容	⑦				
実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
⑧	⑨				
目標・効果値					
⑩					

- ① 基本方針 : 該当する基本方針です。
- ② 実施項目名 : 課題に取り組むための項目名です。
- ③ 推進管理者 : 実行体制の総括者（担当部局長）です。
- ④ 実行責任者 : 実施項目に係る調査・検討・実行を行う作業部会の責任者（担当課室長）です。
- ⑤ 現状・課題 : 取り組みの背景にある、現在の状況や課題です。
- ⑥ 目 標 : 作業部会が目指す目標です。
- ⑦ 取 組 内 容 : 目標を達成するための、具体的な方法・内容を示したものです。
- ⑧ 取 組 項 目 : 取組内容の主な項目です。
- ⑨ 実施スケジュール :
- | | |
|---|---|
|  | ・取り組みの実施に向けて調査や準備、体制（システム）の構築の段階の年度です。 |
|  | ・事業の開始や廃止、システムの稼働、各種削減など、具体的な取り組みを始める年度です。 |
|  | ・「実施」された取り組み（以前から取り組んでいるものを含む）を引き続き行う年度です。 |
|  | ・「実施」された取り組み（以前から取り組んでいるものを含む）の拡大や見直しを行う年度です。 |
- ⑩ 目標・効果値 :
- ・歳入増額や歳出削減額の目標（見込み）額
 - ・各取り組みで効果が得られた値（％、件数）や事柄など

第四次行政改革大綱 進捗管理表【凡例】

課題の変化	①		
取組項目の 進捗・評価	R2年度	②	③
	R3年度		
	R4年度		
	R5年度		
	R6年度		

- ① 課題の変化 : 時間経過に伴う、社会経済情勢の変化や実施項目に関する環境等の変化について。
- ② 取組項目の進捗 : 取組項目の実施スケジュールに対する進捗状況です。
 ○…計画どおり実行できたもの
 △…様々な事情により、計画を変更せざるを得なかったもの
 ×…特別な事情が無く、計画が実行できなかったもの
- ③ 取組項目の評価 : 進捗（実行内容）に対する内部評価です。

実施計画書

基本方針	持続可能な規律ある財政の確保
実施項目名	1 施設使用料等の見直し

推進管理者	総務部長
実行責任者 (部会長)	財政課長

現状・課題	今後、公共施設の老朽化や更新等による財政圧迫要因が強まることから、財政運営の健全化のために適正な歳入の確保及び歳出の抑制が求められている。適正な受益者負担割合での運用を図るため、施設使用料等の見直しが必要となっている。
目標	施設の維持管理費の財源確保及び利用者と未利用者との公平性を保つ。
取組内容	第三次行革大綱に基づき令和元年10月1日に実施した施設使用料等の見直しについて、令和2年度から次の見直しに向けた取り組みを進め、必要に応じて令和5年4月1日の改定（令和5年度当初予算への反映）を実施する。その後、原則3年周期での見直しを進める。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
積算シートの作成 (原価積算)	実施			実施	
個別ヒアリング・見直し 案及び条例改正案の作成	検討	実施		検討	実施
条例の改正			実施		
目標・効果値					
使用料・手数料の適正化	-	-	-	個別に検討の うえ設定	-

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の 進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	持続可能な規律ある財政の確保
実施項目名	2 補助金・負担金の見直し

推進管理者	総務部長
実行責任者 (部会長)	財政課長

現状・課題	補助金等については、効果等が十分に評価・検証されないまま継続され、長期化・固定化するといった課題がある。そのため、常に検証を行い、より効果を発揮できる制度への改善や、費用対効果が低くなったものを見直すことにより限られた財源を新たなニーズに振り向けていくことが必要となっている。
目 標	補助金・負担金の財源が広く市民からの税金で賄われていることに鑑み、公平性・透明性・公益性を確保する。
取組内容	第三次行革大綱に基づき見直し作業を進めている補助金・負担金の見直しについて、見直し対象案件の一部を令和2年度から削減するとともに、その他の案件について令和4年度から見直すための進捗管理を行う。また、次期見直しに向けた準備、取り組みを進める。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
交付対象団体等との調整 (R元年度開始済)	継続 →				
要綱等改正案の作成 (R元年度開始済)	継続 →	実施 →			実施 →
チェックシートの作成		実施 →			
個別ヒアリング・見直し 案及び要綱等改正案の 作成			検討 →	実施 →	
目標・効果値					
補助金・負担金の削減	▲46,000千円	-	個別に検討の うえ設定	-	-

進捗管理表

課題の変化			
取組項目の 進捗・評価	R2年度		
	R3年度		
	R4年度		
	R5年度		
	R6年度		

実施計画書

基本方針	持続可能な規律ある財政の確保	推進管理者	水道局長
実施項目名	3 上水道料金の適正化	実行責任者 (部会長)	水道課長

現状・課題	現状では黒字を保ち安定した経営を維持しているが、人口減少の影響を受け、今後、水道料金の収入の減少につながり、水道施設の維持管理や老朽化施設の更新事業等に影響を及ぼすことが予想される。
目標	健全な水道供給基盤を確保し、安定的な事業運営を行う。
取組内容	水道ビジョンに掲げる取組について、上水道事業運営審議会に諮りながら毎年度の進捗状況を検証する。また、水道ビジョン策定後5年を目途に成果の検証・評価を行い、適正な水道料金となるよう、必要に応じて見直しを実施する。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
審議会の開催	実施	継続			
料金の見直し	検討				実施
目標・効果値					
料金改定 (上水道事業運営審議会で 改定年度・金額等を判断)					

【用語解説】

- 水道ビジョン：水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、将来を見据えた水道の理想像を明示し、取り組みの目指すべき方向性やその実現方策、関係者の役割分担を提示したもの。
- 上水道事業運営審議会：水道ビジョンの策定や評価、また水道事業の運営に関する事項の審議等、上水道事業の健全な経営を図るために設置するもの。

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の 進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	持続可能な規律ある財政の確保
実施項目名	4 下水道使用料の適正化

推進管理者	建設部長
実行責任者 (部会長)	下水道課長

現状・課題	公共下水道や農業集落排水等の各事業間で使用料に格差があり、同じ事業でも地域間で一部格差があっている。また、一般会計からの繰入金に頼る経営状況である。 人口減少による使用料収入の減少が予想される中、安定した経営に向けた使用料設定が課題となっている。
目標	事業間・地域間での使用料の格差是正を含め、安定した経営に向けて使用料の適正化を図る。
取組内容	令和2年度から公営企業会計へ移行する。また、経営戦略を基にして、今後の10年間の財政状況や経営状態を詳細に把握できるよう財政シミュレーションを作成し、適正な使用料見直しを進める。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
経営戦略 (財政シミュレーション)	検討	実施	推進		
審議会の設置・開催		検討	実施		
使用料の見直し・周知			検討	実施	継続
目標・効果値					
使用料改定 (審議会で改定年度・金額等を判断)					

【用語解説】

○経営戦略：将来にわたって、安定的に事業を継続するための中長期的な経営基本計画。

○審議会：使用料改定等について審議し、市へ答申を行う。令和4年度設置予定。

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の 進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	持続可能な規律ある財政の確保
実施項目名	5 債権管理の強化

推進管理者	市民環境部長 総務部長
実行責任者 (部会長)	税務課長 財政課長

現状・課題	債権管理について、全庁で統一した対応ができていなかったため、ルールを明確にし、納付の公平性を確保し自主財源の確保を図る一方、様々な理由により回収困難となった債権の適正な整理を行うことが必要となっている。
目 標	財源確保と市民負担の公平性を維持するため、債権管理の強化を図る。また、多様な収納方法の導入を検討し、利便性・収納率の向上を図る。
取組内容	令和元年度に設置した債権管理委員会を中心に、債権の一元管理に向けた専門部署の設置について協議し、先行して強制徴収公債権の一元管理を進める。また、非強制徴収公債権及び私債権の管理に係る助言・指導を行う体制の構築を進めるとともに、将来的な一元管理に向けた調整を行う。

実施スケジュール

取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
強制徴収公債権の一元管理	実施	継続			
非強制徴収公債権及び私債権の管理に係る助言・指導体制の構築	検討	実施	継続		
非強制徴収公債権及び私債権の一元管理に向けた調整	検討				

目標・効果値

専門部署の設置	設置	-	-	-	-
※専門部署設置後、 内容検討					

【用語解説】

- 債権管理委員会：庁内の連携、情報の共有等を通じた総括的な債権の管理を行うことにより、本市の債権管理に関する事務の一層の適正化を図るため、平成31年4月に設置。
- 公債権：市税・介護保険料・保育料等、地方自治法第231条の3第1項に規定される債権であり、滞納処分（差押え等）可能な債権（市税等）は強制徴収公債権に分類する。
- 私債権：公営住宅使用料・水道料金等、契約等の当事者間の合意に基づき発生する債権。

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の 進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	持続可能な規律ある財政の確保	推進管理者	総務部長
実施項目名	6 公用車運用の適正化	実行責任者 (部会長)	施設マネジメント課長

現状・課題	車両の更新の目安となる取得後経過年数、総走行距離、稼働率等による判断基準がなく、適正な車両の運用ができていない。
目 標	公用車の効率的な運用を行い、経費削減を図る。
取組内容	公用車の利用効率を高めるために、公用車適正配置計画（仮称）を策定し、適正台数の把握と管理体制を強化する。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
公用車適正配置計画 （仮称）策定	実施 →				
進捗管理	実施 →	→ 推 進			
目標・効果値					
公用車削減 （全体146台⇒132台）	▲2台	▲3台 （▲5台）	▲3台 （▲8台）	▲3台 （▲11台）	▲3台 （▲14台）

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の 進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	持続可能な規律ある財政の確保
実施項目名	7 公共施設等総合管理計画の推進

推進管理者	総務部長
実行責任者 (部会長)	施設マネジメント課長

現状・課題	本市の公共施設（建物）保有総量は、全国と同規模都市よりも多く、今後の人口・財源の動向を見据え、将来的に維持していくことができる保有総量へコントロールすることが必要となっている。
目標	公共施設等の保有総量を最適な規模とする。
取組内容	総合管理計画の基本方針に沿った個別施設計画の策定を進め、公共施設の適正配置を推進するとともに、個別施設計画のデータを基礎とした総合管理計画の見直しを行う。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
個別施設計画の策定	実施 →		推進 →		
進捗状況を踏まえた 総合管理計画の見直し	検討 →		実施 →		
目標・効果値					
個別施設計画の策定	100%	-	-	-	-

【用語解説】

- 公共施設等総合管理計画：公共施設等の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことで、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置に関する計画。
- 個別施設計画：公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画。

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の 進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	市民に寄り添った行政サービスの提供
実施項目名	8 窓口業務改善の推進

推進管理者	総務部長 市民環境部長
実行責任者 (部会長)	総務課長 市民課長

現状・課題	複数の部署が関係し、長時間化している届出において、その原因や課題を整理する必要が生じている。 また、住民異動・戸籍業務に係る関係制度等が年々多岐にわたり、窓口業務の負担が増加していることから、事務の省力化と正確性が求められている。
目 標	窓口手続きの混雑・長時間化等の課題を解決し、市民目線に立った利便性の高いサービスを効率的に提供する。
取組内容	各種届出等に係る課題を業務や組織の枠を超えて整理し、手順・事務処理等の業務工程の見直しを行う。 また、各種証明書コンビニ交付の利用推進を行う。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
各種届出等の業務工程改善	検討	実施	推 進		
外国人用住民異動届作成	実施				
証明書コンビニ交付利用の推進	実施	推 進			

目標・効果値					
窓口手続きに係る改善項目数（累計）		1	2	3	4
コンビニ交付発行件数	770件	1,000件	1,200件	1,400件	1,600件

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	市民に寄り添った行政サービスの提供
実施項目名	9 市営住宅管理の民間活力導入

推進管理者	建設部長
実行責任者 (部会長)	都市整備課長

現状・課題	建物の老朽化や入居者の高齢化に伴い、多様化するニーズへの対応が求められるが、各種申請・手続きの対応や住宅使用料管理等の事務処理に注力せざるを得なく、迅速な対応が困難な状況である。
目 標	民間活力を取り入れ、入居者へのサービス向上及び管理経費の削減を図る。
取組内容	公営住宅の指定管理等の知識、経験を要する民間事業所とのヒアリングを行い、民間活力の導入により、今後想定される入居者の高齢化等、多様化するニーズに対応できるサービスを構築する。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
民間事業者ヒアリング及び仕様書作成	→ 検討・実施				
条例改正・公募・選定	→ 検討・実施				
民間事業者活力の導入	→ 検討		→ 実施	→ 継続	
進捗管理・検証			→ 実施	→ 継続	
目標・効果値					
経費削減	-	-	▲5%	▲5%	▲10%

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の 進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	市民に寄り添った行政サービスの提供	推進管理者	教育部長
実施項目名	10 生涯学習センター等のあり方検討	実行責任者 (部会長)	生涯学習課長 中央図書館長

現状・課題	平成29年度の開館に伴い、学校連携や電子図書館開設等の新たなサービスを展開している。開館後3年目を迎え、経費を含めた事業の評価を行い、地域社会のニーズと実態を把握・分析する。また、他自治体の先進的な事例を参考にしながらサービスの質を向上させる、生涯学習センター等のあり方を検討していく必要がある。
目標	今後の生涯学習の推進に係る施設運営のあり方を様々な視点から検討し、利用者へのサービスと利便性の向上を目指す。
取組内容	市民の様々な課題解決や地域づくり、人材育成、文化振興に寄与するため、生涯学習センター等の役割を多面的に検討し、新たなサービスの展開等、施設運営も含めた生涯学習センターのあり方を検討していく。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
各施設の現状・課題整理及び内部検討	→ 実施				
外部識者を含めた生涯学習センター等のあり方検討委員会（仮称）の設置及び協議		→ 実施	→ 継続		
上記検討委員会からの答申			→ 実施		
目標・効果値					
方向性の決定	-	-	-	決定	-

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	意識変革・組織力の強化と事務の効率化	推進管理者	総務部長
実施項目名	11 職員の意識変革・能力の向上	実行責任者 (部会長)	総務課長

現状・課題	人材育成基本方針の策定以降、市職員数は大きく減少したが、業務量は増えており、市民サービスも複雑・多様化している。これからも続いていく時代の変化に対応できる職員の育成が求められている。
目標	時代の変化に即応した人財の育成と組織マネジメント力の向上を図る。
取組内容	職員ひとり一人の執務能力向上のため、現在の研修体系を見直し、より効果的な研修体制の構築を図ることで、時代の変化に柔軟に対応できる人財の育成に努める。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
人財育成 アクションプラン	実施	継続			
各種研修の実施 ◆階層別研修 ◆スキルアップ研修 ◆意識改革研修 等	実施	継続			
人事評価制度の見直し・ 検討	検討	実施	推進		
目標・効果値					
人事評価制度の構築	-	実施	-	-	-

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の 進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	意識変革・組織力の強化と事務の効率化
実施項目名	12 効率的な組織の構築と組織力の強化

推進管理者	総務部長
実行責任者 (部会長)	総務課長

現状・課題	部課長を対象とした業務ヒアリングを実施し、職員を配置しているが、業務量の増加に伴い時間外勤務は横ばいとなっている。また、部署間の連携が十分ではない状況である。
目 標	組織機構の見直しと職員の適正配置を行う。
取組内容	平成26年度策定の定員管理計画を見直し、会計年度任用職員及び再任用職員も含めた適正な人員管理に努めるとともに、柔軟かつ効率的な組織を構築する。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
必要に応じた定員管理計画の見直し	実施 →	推 進 →			
組織機構の見直し	実施 →	推 進 →			
業務ヒアリング	継 続 →				
目標・効果値					
時間外勤務の削減 (定員管理計画見直し後、削減指標を判断)					

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の 進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	意識変革・組織力の強化と事務の効率化
実施項目名	13 ICT等の利活用の推進

推進管理者	政策企画部長 総務部長
実行責任者 (部会長)	情報政策課長 総務課長

現状・課題	働き方改革、更なる市民サービスの向上を目指すために、ICTを活用した事務の効率化が求められている。また、多様化するICTに対し適正調達・適正管理を行うことが必要である。
目 標	様々な業務について、効率化・合理化を図るとともに、各種市民サービスについて、ICT利活用による利便性向上を図る。
取組内容	「情報化推進アクションプラン」に基づき取り組むが、主なものは次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 庶務事務システムを始めとする電子決裁システム、文書管理システムを段階的に導入。 ・ 業務の可視化を踏まえたRPAの活用を検討・実施。 ・ 施設予約システム等の導入。行政サービスにおけるマイナンバーカードの独自利用の検討・実施。 ・ 新たな情報システムの導入、更新等にあたっては、「情報システムガイドライン」に基づき適切かつ効果的に実施。

実施スケジュール

取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
庶務事務システム	実施	継 続			推進
電子決裁・文書管理システム	検討	実施(構築・運用)		継 続	
RPA	実施(試行・運用)		継 続		
施設予約システム	実施	継 続			推進
マイナンバーカードの独自利用の検討	検討	実施	継 続		
情報化企画プロセスの標準化	実施	継 続			

目標・効果値

RPA対応業務数(累計)	10	10	15	20	25
マイナンバーカード利用システム数(累計)	1	2	3	3	4

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				

実施計画書

基本方針	外郭団体の見直し	推進管理者	経済部長
実施項目名	14 第三セクターの見直し	実行責任者 (部会長)	農政課長 商工観光課長

現状・課題	各第三セクターが地域に根差し、地域活性化の原動力となることで、本市の農業、観光等の振興に寄与してきた。しかし、各施設を維持・管理していくための修繕料・指定管理委託料が市財政の負担となっている。
目標	地域産業の振興と市財政負担の軽減を図る。
取組内容	地域活性化の拠点として公益性を確保しつつ、令和3年度までに改定する第三セクター見直し方針を基に、市の関与、施設の在り方、経営内容の検証を行いながら安定した経営への転換を図っていく。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
第三セクター見直し方針の改定	検討(策定)				
改定後の方針に基づく取組みの実行・検証		実施		推進	
目標・効果値					
市財政負担の軽減	-	-	-	-	市財政支出の削減

進捗管理表

課題の変化			
取組項目の進捗・評価	R2年度		
	R3年度		
	R4年度		
	R5年度		
	R6年度		

実施計画書

基本方針	外郭団体の見直し
実施項目名	15 土地開発公社の解散

推進管理者	政策企画部長
実行責任者 (部会長)	企画振興課長

現状・課題	公社所有の財産（土地）として、事業用地と道路等残地が残っている。処分件数が多く、事前調査等が必要であるため、処分に時間を要している。
目 標	公社の財産処分を行い、早期解散を目指す。
取組内容	公社所有の財産（土地）を売却・寄附等による処分を行い、解散に向けた準備を進める。

実施スケジュール					
取組項目	R2年度	R3	R4	R5	R6
所有地の処分 (売却・寄附等)	→ 実施	→ 継 続			
土地開発公社解散手続き			→ 検 討		→ 実施
目標・効果値					
土地開発公社の解散	-	-	-	-	実施

【用語解説】

○土地開発公社：地方公共団体が地域の整備を図るために必要な公有地となるべき土地等の取得及び造成その他の管理を行う法人。

進捗管理表

課題の変化					
取組項目の 進捗・評価	R2年度				
	R3年度				
	R4年度				
	R5年度				
	R6年度				